

令和7年度

まんたらめ

学校利用の手引き



秋田市太平山自然学習センター

TEL	827-2171
FAX	827-2173
E-mail	ro-edoo@city.akita.lg.jp

目次

I 利用について

1 利用にあたって	1
2 送迎、食事、経費等	3
3 利用当日までの流れ	4
4 使用料、食事代等	5
5 利用の実際	7
6 キャンプ場の利用について	12

II 活動計画について

1 計画作成にあたって	13
2 研修当日の補助について	13
3 主な活動プログラム例	13
4 貸し出し用具一覧	17
5 外部講師の依頼について	20
6 活動施設の概要	21
7 周辺施設について	21
8 主な活動プログラムの実際	22

III その他

1 施設概要	24
2 宿泊室について	24
3 危険な生き物について	24
○ 令和7年度利用予定表	26
○ 資料 提出書類の記入例	27
○ 電話番号一覧	38

I 利用について

1 利用にあたって

(1) 設立の目的

秋田市太平山自然学習センターは、太平山の豊かな自然環境の中で、集団生活や自然体験、創作的活動等の野外活動を通して、青少年の健全育成および市民の生涯学習を推進することを目的に、平成15年8月22日に設置されました。

(2) 方針

自然体験やものづくりができる環境を整えるとともに、利用者（各学校）が、主体的に活動できるように支援をしていく。

スローガン 「真剣」「体験」「発見」

(3) 学校に対する支援の重点

- ① 自然体験を柱にした計画づくりへの支援
 - ・ 「歩く活動」を通して、自然とふれあい親しむ体験
 - ・ 太平山観光開発(株)との連携
- ② 時間の有効活用への支援
 - ・ 各学校の規模と実態、ねらいに合わせた計画づくり
 - ・ 野外炊飯の準備や片付け対策
 - ・ 2日間の流れを考えた活動計画づくり
- ③ 事前準備への支援
 - ・ 活動計画に合わせた事前準備への指導助言
 - ・ 安全確保のための指導助言
- ④ 生きる力につながる体験活動への支援
 - ・ 成長段階に合わせた学年ごとの活動内容の工夫

(4) 利用上の留意事項

① 生活

以下の点について、安全面にもかかわることですので事前指導をお願いします。

- ・ 公共施設使用のマナーや時間を守ることの大切さ。
- ・ 野外活動における一般的な注意事項および日常生活での手洗い、うがい。
- ・ 睡眠、食事（特に朝食）、給水（熱中症や日射病対策）の大切さ。
- ・ 準備運動（ストレッチ）やクールダウン。

② 引率者

- ・ 無線機を利用するなどして、引率者間やセンター職員への連絡、確認をしてください。
- ・ いつもと異なる環境での活動です。引率者自身も体調管理に気を付けてください。
- ・ ここでの活動は、学校での授業以上に「自分で事前にやってみる」ことが重要です。
- ・ 経験のない自然体験でも、児童生徒と共に活動してみようという気持ちが大切です。

③ 野外活動

- ・ **危険な生き物**について学習しておきましょう。（P24 参照）
- ・ 活動内容や活動場所に合わせた服装の準備が必要です。
- ・ 登山道や道路などの状態を的確に把握しておくことが必要です。下見は必須です。
- ・ 山の天気については、気象情報をしっかり把握し、判断しなくてはなりません。
- ・ 火を扱う活動では、やけど防止のため細心の注意が必要です。

④ 施設・用具の利用

- ・ 施設・用具は大切に扱ってください。利用者が元通りに片付けることが基本です。
- ・ 使用する用具について、事前の知識や経験があると活動もスムーズです。
- ・ 刃物などを扱う場合、学習経験の有無を問わず指導し、ケガの絶無に努めてください。
- ・ 敷地内は**禁酒**です。**アルコールの持ち込みはお断りします。**
- ・ 敷地内は**禁煙**です。

⑤ その他

- ・ 活動中の様子を撮影した写真を当センターのホームページやポスター、実践集録などに使用することがありますので、ご了解ください。
- ・ 申込み等で知り得た個人情報については、厳重に管理します。

(5) 休館日

● **第2・4月曜日**（月曜日が休日の場合は、翌日火曜日が休館日となります。）

● **年末年始**（12月29日～1月3日）

* 休館日の前日は宿泊できません。

2 送迎、食事、経費等

1 送迎について

項 目	「市立学校」	「市立学校以外」	備 考
センターから学校間 (乗車1カ所、降車1カ所)	センターで手配	各学校で手配	・途中下車は交通渋滞や安全面からできません。

2 料金について

施設使用料	無料	有料 減免制度有り	・1か月前まで使用許可申請書提出。「市立以外の市内小・中学校」は減免申請書も添付。 ・支払いは事務室へ。(現金又は納付書払い)
食事の基本メニュー料金	<弁当(小学生)> 朝食@325円 昼食@325円 夕食@400円 <弁当(中学生)> 朝食@350円 昼食@350円 夕食@425円	<弁当(小学生)> 朝食@650円 昼食@650円 夕食@800円 <弁当(中学生)> 朝食@700円 昼食@700円 夕食@850円	・市立学校の児童・生徒および引率者のみ一般料金の半額。 (同行のカメラマンの分は半額になりません。) ・野外炊飯を実施する場合は、各学校で食材等を持参してください。
シーツ代	@330円		・当日欠席したり帰宅したりして未使用の場合は徴収しません。

3 食事のメニューについて

初日の昼	提供不可	・弁当を持参してください。 ・食堂は、前日から学校の利用が優先されますので使用できません。
初日の夕食以降	基本食 又は 野外炊飯から選択	・野外炊飯は、要相談。

4 食事数の変更・キャンセル料について

食事日の 3日前の正午まで	発生しない		・3日前が休館日の場合は、4日前の正午まで。
食事日の 3日前の正午以降	一般料金の半額	全額	

5 食事、シーツ代の支払方法について

児童・生徒および引率者	現金 銀行振込	・食事代は、業者へ当日に現金で直接支払います。 銀行振込の場合、手数料は学校負担になります。 ・シーツ代は、業者へ銀行振込で支払います。手数料は業者負担になりますので、差し引いた分を振り込んでください。(ただし、2セット(660円)以下の場合は学校負担となります。)
カメラマンほか (個人で注文する場合)	現金	・利用学校の引率者に現金で渡してください。児童生徒および引率者分とまとめた支払いとなります。

3 利用当日までの流れ

	利用学校	まんたらめ
利用日の 1 か月半前	センターでの事前打合せ・現地下見 ・日程、活動プログラム、食事等について打合せ ・実施する活動プログラムの事前準備への支援	
	必要に応じて ●周辺施設の予約 ●外部講師との打合せ	・外部講師の仲介
利用日の 1 か月前 (必着)	①使用許可申請書 (郵送、メール便、持参) ②活動計画書(メール、FAX可) ③木材注文票(メール、FAX可) ※減免申請書 (市立以外の市内小・中学校) を提出	・日程調整やバスの手配 ・木材の注文
利用日の 3 週間前 (必着)	必要に応じて ●「アレルギー物質に関するアンケート」を提出 (郵送、メール便、持参)	
利用日の 2 週間前 (必着)	①食事等注文票 ②食堂テーブル座席票 (メール、FAX可) ③用具貸出票 を提出	・食事の注文
利用日の 1 週間前	必要に応じて ●書類(訂正版)の再提出	・バス配車表の送付 (市立学校)
利用日の 4 日前 (必着)	●<u>しおり</u>もしくは<u>細案 4部</u>提出 ※宿泊者名簿が入っているもの (郵送・メール便・持参) 必要に応じて ●食事数変更(訂正版)	食事のキャンセルは、利用日の3日前(その日が休館日の場合は4日前)の正午まで可。それ以降はキャンセル料が発生します。 ※シーツは当日キャンセル可
利用当日	入所時打合せ(活動全般、食事関係)	

4 使用料、食事代等

* 以下の料金はすべて税込みの金額です。

(1) 宿泊使用料金

- ① 市立学校は、使用料・テント代および入浴料はかかりません。
- ② 市立以外の学校の宿泊使用は、下表の使用料がかかります。
- ③ 宿泊使用料は**事務室へ支払い**をしてください。
- ④ 宿泊使用できる時間は、入所日の10:00～退所日の9:00です。

宿泊の種類	区 分		使用料 (一人あたり)	部屋・テント代	経費	備 考
館内泊	市内の 市立以外の学校	一般	2,600円	減免制度有り	使用料 のみ	全施設使用可
		小・中学生	1,300円			
	市外の学校	一般	2,600円	減免制度なし		
		小・中学生	1,300円			
テント泊	市内の 市立以外の学校	1張り	1,800円	減免制度有り		大屋根広場と 炊事棟使用可
	市外の学校	1張り	1,800円	減免制度なし		

* 市立以外の学校は、テント泊で入浴を希望する場合、一人150円がかかります。

(2) 日帰り使用料金

- ① 市立学校は使用料はかかりません。
- ② 日帰り使用できる時間は9:00～18:00です。
- ③ 日帰り使用料は**事務室へ支払い**をしてください。

区 分	使用料 (1時間あたり)	備 考
研修スペース	1,200円	
ワークショップ	750円	
食堂	900円	食事を注文した場合は使用料がかかりません
宿泊室	200円・300円	1部屋あたりの料金
大屋根広場	1,800円	
炊事棟	450円	1棟あたりの料金

(3) シーツクリーニング代

シーツクリーニング代は**クリーニング業者へ支払い**をしてください。
(銀行振込になります。)

区 分	金額	備 考
宿泊室用シーツ	330円	長期間利用で、途中でシーツ交換する場合は、新たに料金がかかります。
シュラフ用シーツ	330円	

※ 手数料は業者負担になりますので、差し引いた分を振り込んでください。
(ただし、2セット(660円)以下の場合
は学校負担となります。)

(4) 食事代

- ① 市立学校は、基本食に限り代金の半額です。
- ② 食事代は、**弁当業者へ支払い**をしてください。
- ③ 食事は、10食から注文を受け付けます。

区 分		代金	備 考
基本食	朝食	小学生	650円
		中学生	700円
	昼食	小学生	650円
		中学生	700円
	夕食	小学生	800円
		中学生	850円

○利用日の3日前(その日が休館日の場合は4日前)の正午以降は、キャンセル料が発生します。
(P3参照)

※ 野外炊飯を実施する場合は、食材は持参となります。

(5) 基本食

※詳しくは、当センターのホームページの「食材一覧」を参照してください。

[食堂での食事]

朝 食	食 品 名
米 飯	精白米
味噌汁	味噌 乾燥わかめ かつお節粉末
おかず	オムレツ 肉しゅうまい ポークウインナー 紅鮭フレークほぐし ポテトサラダ 金平ごぼう ごま昆布
飲み物	りんごジュース(紙パック)
デザート	ミニゼリーりんご

昼 食	食 品 名
米 飯	精白米 ※トッピング(卵そぼろ 鶏そぼろ)
味噌汁	味噌 油揚げ 乾燥わかめ かつお節粉末
おかず	焼きそば 鶏唐揚げ ベーコンのせ野菜炒め マカロニサラダ ひじき煮
デザート	ブドウゼリー

夕 食	食 品 名
米 飯	精白米
味噌汁	味噌 しじみ粉末 乾燥わかめ かつおエキス
おかず	ハンバーグ(デミグラスソース) えびフライ スマイルポテト ブロッコリー コーンボイル ほうれん草のおひたし
飲み物	麦茶(紙パック)
デザート	エクレア フルーツカクテル

(6) 特別食

[補食関係]

品 名	料 金	備 考
緑 茶	110円	200ml 紙パック
麦 茶	110円	250ml 紙パック (※基本食 夕食時付き)
	110円	280ml ペットボトル
	160円	650ml ペットボトル
綾 鷹	110円	280ml ペットボトル
爽健美茶	160円	600ml ペットボトル
りんごジュース	110円	200ml 紙パック (※基本食 朝食時付き)
アクエリアス	160円	500ml ペットボトル
パ ン 類	あんパン	120円 1個
	マーラーカオ	140円 2個
	メロンパン	140円 1個

5 利用の実際

(1) 標準生活時間

以下の時間にそって活動してください。プログラムの都合上等で時間を変更したい場合は事前にご相談ください。

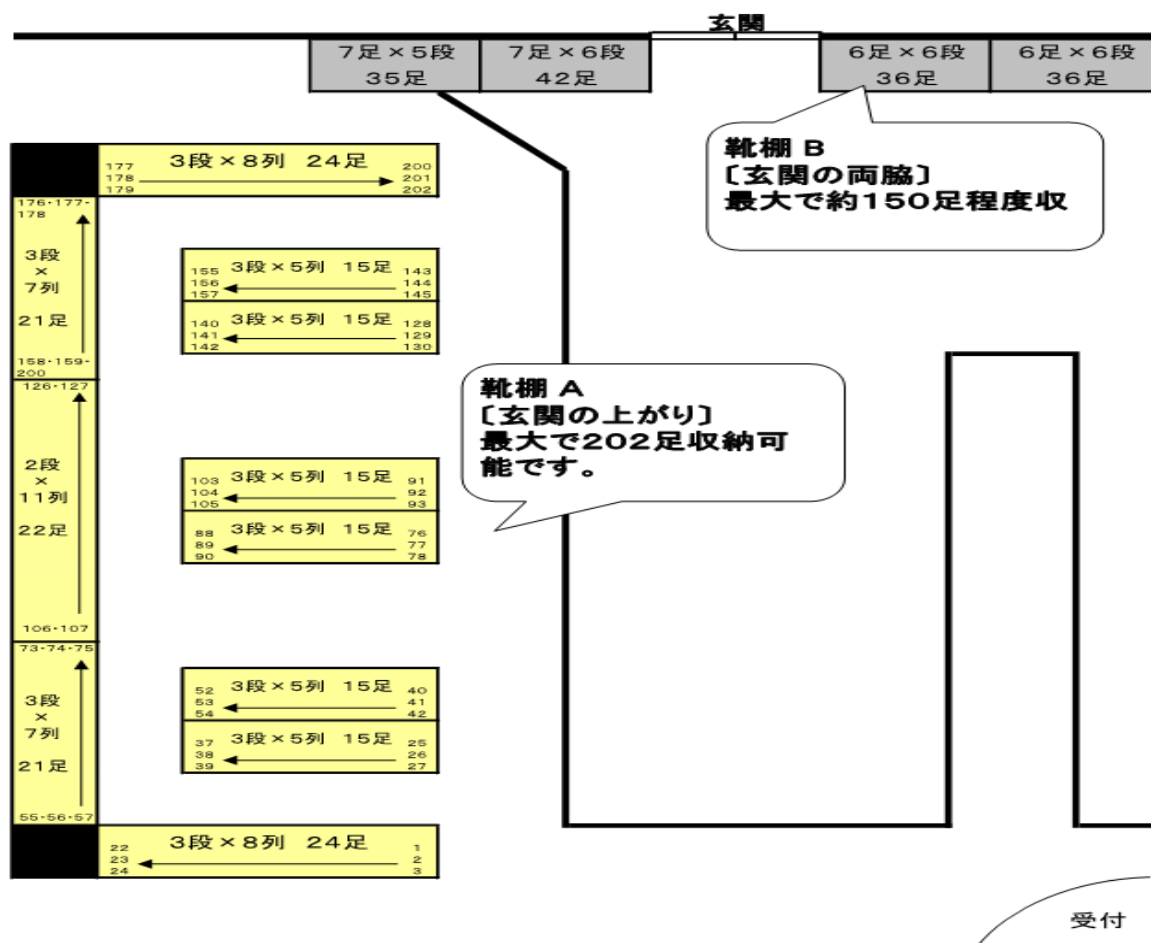
食事	朝食	7:00 ~ 8:00	左記の時間内に食事をとるようにしてください。
	昼食	12:00 ~ 13:00	
	夕食	17:30 ~ 18:30	
入 所	10:00 ~	入室は10:30以降にお願いします。	
入 浴	20:00 ~ 21:45	夜21:45で昇温ポンプが止まります。	
消 灯	22:00	常夜灯・室内灯を除く館内の照明が消えます。	
起 床	6:30 ~	早く目が覚めた方は静かにお願いします。	
退 室	~ 8:40	片付け・清掃を終え、部屋を空けます。	
部屋点検	8:40 ~	各部屋の責任者とセンター職員で最終点検をします。	

※ 市立以外の学校が部屋点検後9:00以降に施設を使用する場合、日帰り料金がかかります。

※ 退所時間は14:00を基本とします。

(2) 靴棚配置図

- ◆ 靴棚は基本的に「靴棚A」を使います。
- ◆ 学校が重なった場合、同一週の2番目と4番目の学校が「靴棚B」を使います。



(3) 食事について

- ① 食物アレルギー等で、通常の食事で不都合がある場合は、3週間前までに「アレルギー物質に関するアンケート」を提出してください。(メール・FAX不可)

- 考えられる対応例 -

- ・ 可能な範囲での代替食の提供
- ・ 自宅からの持参
- ・ おやつ、飲料の検討

(太平山自然学習センターの枕には、そば殻は使用していません。)

- ② 食堂は222人(常設6人×29卓、増設6人×8卓)が一度に利用できます。

- ③ 利用するテーブルの人数を割り振りし、「**食堂テーブル座席票**」を提出してください。
ごみ袋(70L以上)とテーブル拭きは、持参してください。

準備 (食事係)	・ トレーにおかずや箸、手拭きを置き、テーブルに配膳します。 ・ ご飯を茶碗に盛り付け、テーブルに配膳します。 ・ 味噌汁の容器に電気ポットのお湯を入れて、テーブルに配膳します。 ・ 準備が整ったら、全員集合します。
片付け	・ 食事が終わったら、テーブルごとにおかずの容器やご飯茶碗などを重ねます。(残菜は1つの容器にまとめます。) ・ ご飯茶碗等は、決められた場所に返却します。 ・ 燃えるごみや残菜、飲み残しは、決められた場所に捨てます。 ・ テーブルの上をきれいに拭き、床にごみが落ちていないか確かめます。 ・ いすやテーブルを整頓します。

(4) 入浴について

- ① 浴場は、男女とも一度に約30名の入浴が可能です。(シャワー各15個、脱衣棚各42カ所)
- ② ボディシャンプー、シャンプー、ドライヤーは、完備しています。(ドライヤー各3個)
- ③ 子どもたちに入浴時のマナーを指導し、片付けや忘れ物等の確認をしてください。
- ④ 「けやき」「さつき」の部屋には、ユニットバスがあります。
- ⑤ 早い時間の入浴を希望する場合は、事前に連絡してください。

(5) ごみの処理について

「まんたらめ」では、宿泊室以外の場所にごみ箱を設置していません。ごみを処理する場合は、分別してごみ置き場に出してください。ごみ袋の種類は、以下を参考にしてください。

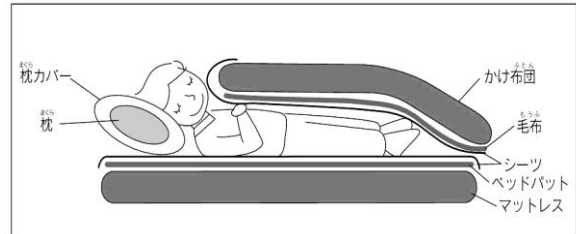
- 家庭ごみ
 - …半透明または透明な袋
- ペットボトル
 - …透明な袋(キャップをはずして)
- 缶類
 - …透明な袋
- 段ボール
 - …紙ひもで縛る
- 生ごみ
 - …半透明または透明な袋を二重に重ね屋外から生ごみ置き場へ



(6) 寝具について

ベッド（ふとん）メイキング

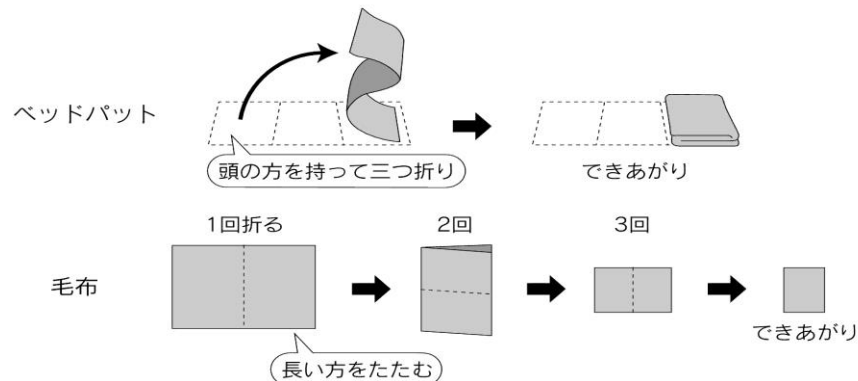
- ① シーツとまくらカバーをリネン室前から持ってくる。(シーツ1人2枚、まくらカバー1人1枚)
 - ② ベッドパッド(畳の場合は敷き布団)を敷く。
 - ③ シーツを2枚重ねて敷く。
 - ④ 毛布をかける。
 - ⑤ 上側のシーツを毛布上に折り返す。
 - ⑥ まくらをまくらカバーに入れる。
- * シーツとシーツの間に入って寝る。
* 必要な場合は、押し入れからかけ布団を出してかける。



寝具の片付け方

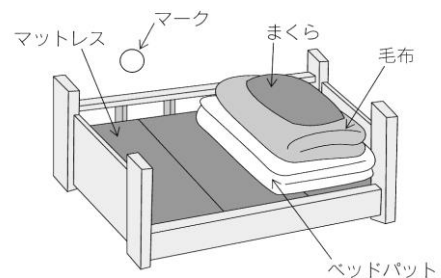
- ① シーツ・まくらカバーを返却袋に入れる。
 - ② ベッドパッドをたたむ。(三つ折り)
 - ③ 毛布をたたむ。(3回折る)
 - ④ ベッドパッド・毛布・まくらの順に、向きをそろえて重ねる。
- ※ 畳で寝た場合は、押し入れから出したものを畳の上に種類ごとに整頓して置く。

たたみ方



置き方

- 寝具は壁の「○マーク」のない方(足元)に重ねる。
- 毛布は折り曲げた面を通路側に向けて置く。



次の利用者が気持ちよく利用できるようにお願いします。

(7) 清掃・退室

(～8:40) (各部屋に備え付けのマニュアルを参考に片付けてください。)

- ① 清掃ロッカーから「ほうき」「ちりとり」を持ってきて掃きそうじをする。
(各部屋2セットまで使えます。)
 - ② ごみ箱のごみを、シーツ置き場の大きなごみ箱に捨てる。
 - ③ ごみ箱と清掃用具をもとの場所へ返す。
 - ④ 「宿泊室点検表」にしたがって部屋の点検をする。(提出する必要はありません。)
- ※ 清掃後、**引率者は部屋の点検**をしてください。
- ⑤ 各部屋の責任者とセンター職員で最終点検をする。(8:40～)

宿泊室点検票 ()号室 ()

〔点検の流れ〕

起床～8:40
8:40～8:55

清掃・片付け・先生の点検終了
利用者と所員で最終点検

ベッド (右図)

項 目	室長・係	先生
①ベッドパッドはきちんとたたまれているか (三つ折り)		
②毛布はきちんとたたまれているか (表を上、3回折り)		
③寝具類は足もとに整頓されているか		

毛布は折り曲げた面を通路側に
向けておく。



ベッドパッドは頭の方を持って
三つ折りにし、足の方におく。

ふとん類 (右図)

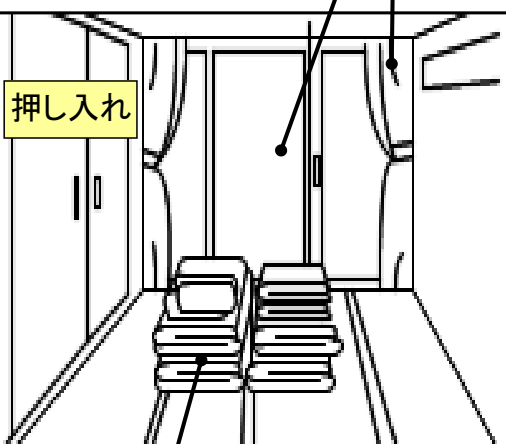
項 目	室長・係	先生
①寝具類は畳の上に整頓されているか		

カーテンはタッセル
でまとめる。

ベランダの戸のカギ
を閉める。

部屋 (右図)

項 目	室長・係	先生
①ごみは落ちていないか		
②ごみ箱の中は空になっているか		
③カーテンはタッセルでまとめられているか		
④窓や戸のカギは閉まっているか		
⑤電気・エアコンのスイッチはOFFか		
⑥忘れ物はないか		



寝具類(押し入れから出したもの)は
たたみの上に整頓して置く。

- ・しき布団
- ・毛布
- ・まくら
- ・かけ布団

(8) 服装・携行品

- 服装・携行品は以下を参考にしてください。

個人	● 服装 活動に適した衣類(長袖シャツ・ズボン〈外傷・虫さされ・寒さ防止など〉) 帽子 軍手 防寒着 活動に適した外履き(活動しやすいズック、長靴など)
	● 携行品 内履き 洗面用具 タオル 筆記用具 着替え 常備薬 等
団体	● ゴミ袋 ● 救急医薬品 ● 緊急用車両 ● その他必要な消耗品等

(9) その他

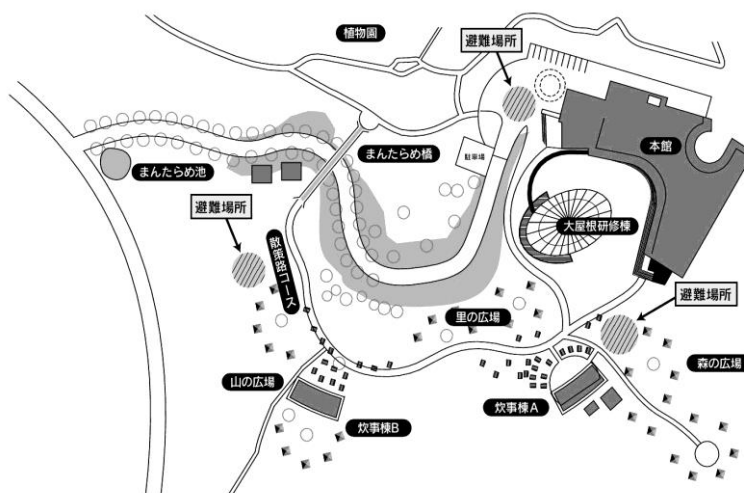
- ① 複数の学校が同時に研修を行う場合は、活動場所や活動時間について事前に調整します。ただし、原則として午前中の活動や昼食時の食堂使用などは先に入所していた学校を優先します。
- ② 放送設備は事務室前と炊事棟Aにあります。使用の際は、センター職員から使用方法の説明を受けてから使用してください。
- ③ すり傷や切り傷程度のけがは医務室で応急手当ができますが、専門的な治療はできませんので、病院や医院での受診をおすすめします。(P38に最寄りの病院の電話番号掲載)
- ④ 館内は携帯電話の電波が届きにくい状態になっています。外部との連絡には、公衆電話を利用できます。(テレホンカード使用不可。)

緊急時の 連絡について

- ① 急病、事故、火災などが発生した際は、すみやかに処置をするとともに、事務室へ連絡してください。
- ② 夜間は、警備員室に連絡してください。
- ③ 野外活動中の緊急事態については、無線機等で「まんたらめ事務室」へ連絡し、状況を報告して対処方法を相談してください。

災害時の避難場所

災害および火災発生時は、緊急放送により連絡します。近くの非常口から、あわてず落ち着いて避難してください。



6 キャンプ場の利用について

(1) テントサイトについて

- ① 開設期間 5月～9月
- ② 利用可能人数 235人(追加テント10張使用)
- ③ 各テントサイトについて(キャンプ場配置図参照)

テントサイト	テント数	定員	数	備考
森の広場	砂地サイト用テント	5	10張	常設
	本部用テント	5	2張	常設
	追加用テント	5	10張	野外営火場に設営、撤収。
里の広場	砂地サイト用テント	5	10張	常設
山の広場	砂地サイト用テント	5	15張	常設

(2) 利用の実際

- ① テント・シュラフの準備
 - キャンプ場の利用の仕方、シュラフの使い方について、オリエンテーションを受けます。
 - シュラフにシーツを取り付けます。
 - テントマット・シュラフをテントに運びます。

- ② テントの使用
 - テント内は土足禁止です。
 - テントの近くでは火気厳禁です。
 - テント内は飲食禁止です。

- ③ 片付け・清掃(～8:40)
 - シーツは館内シーツ入れに入れます。
 - シュラフは裏返しにして、館内2F手すりに干します。(食堂前には干さない。)
 - テントマットは2Fデッキ(雨天時は館内)に干します。
 - テント内をはき掃除します。(用具は炊事棟)
 - テントの窓・出入口のファスナーをすべて閉めます。

* 引率者は各テントの点検をしてください。

- 退テント後、各テントの責任者とセンター職員で最終点検をします。(8:40～)

- ④ シュラフ・テントマットの返却
 - 退所前にシュラフを丸め、テントマットをたたみ、元の場所に返却します。

- ⑤ その他
 - 市立以外の学校が入浴を希望する場合は、1人150円かかります。
 - ごみは出た都度ごみ置き場に置いてください。(カラスやクマ防止のためです。)



(3) 貸出し用具(テント泊)

追加テント	10張	テントの設営・撤収用資料あり。
テントマット	50枚	砂地用テント・本部テント・追加テント用。
シュラフ	230個	筒型。シュラフシーツを使用します。
シュラフシーツ	540枚	シーツクリーニング代(330円)がかかります。
ランタン	25個	電池は利用団体で準備。(単一電池4本/個)

II 活動計画について

1 計画作成にあたって

まんたらめでの宿泊研修は、学校の自主的な計画・運営を基本としています。センター職員はそのサポートに努めます。そこで宿泊研修にあたり、次のことに留意してください。

- ① 「何のためにその活動をするのか」というねらいを明確にしましょう。
- ② 体験活動は時間通りに進まないことが多いため、時間に余裕をもたせて計画を立てましょう。
- ③ 安全対策は万全にしましょう。
 - 自然環境や気象条件をしっかりと把握しましょう。
 - 必ず下見を行い、危険箇所や引率者の配置などを確認しておきましょう。
 - 引率者の役割分担や救急体制を明確にしておきましょう。

2 研修当日の補助について

- ① 各学校の活動プログラムに合わせて、貸し出し用具を準備します。
- ② 児童生徒の引率や直接の指導などは行いません。
- ③ 特殊な作業（焼き印等）についての説明や危険を伴う作業等について**センター職員が補助**します。

3 主な活動プログラム例

()内:「講」は外部講師依頼可能、「周」は周辺施設利用

(1) 自然の中でたくましい心と体をつくる

活 動	活動場所	センターで用意できるもの	持参するもの	備 考
オーパス登山	まんたらめ ～スキー場頂上	無線機・熊よけ鈴	軍手・タオル・水筒・長袖・長ズボン・ズック(長靴)	・登山道片道約45分
オーパストップ登山	まんたらめ～ クワッドリフト降り場	無線機・熊よけ鈴	軍手・タオル・水筒・長袖・長ズボン・ズック(長靴)	・登山道片道約30分
妙見山登山	まんたらめ～花公園 ～妙見山頂上	無線機・熊よけ鈴	軍手・タオル・水筒・長袖・長ズボン・ズック(長靴)	・花公園まで片道30分 ・花公園にトイレあり ・登山道片道約30分
太平山 前岳登山	・(a)まんたらめ～スキー場頂上～前岳(女人堂) ・(b)金山滝口～前岳(女人堂)	無線機・熊よけ鈴	軍手・タオル・水筒・長袖・長ズボン・登山に適した靴・食料	・(a)登山道登り約2時間 ・(b)登山道登り約2時間半 ・下り1時間半～2時間
太平山 リゾート公園 ハイキング	太平山リゾート公園	無線機・熊よけ鈴	軍手・タオル・水筒・長袖・長ズボン・ズック(長靴)・昼食	・コース設定が必要
オーパスゲレンデ ハイキング	オーパス	無線機・熊よけ鈴	軍手・タオル・水筒・長袖・長ズボン・ズック(長靴)・昼食	・コース設定が必要 ・オーパスプラザまで片道30分
スキー (講・周)	オーパス	無線機・ゼッケン	ウェア・スキーセット・手袋・帽子・ゴーグル・昼食・リフト代	・団体使用申込み、レンタル申込み等の手続きが必要 ・指導員仲介可
スノーボード (講・周)	オーパス	無線機・ゼッケン	ウェア・ボードセット・手袋・ヘルメット・ゴーグル・昼食・リフト代	・団体使用申込み、レンタル申込み等の手続きが必要 ・指導員仲介可
スノーハイキング	まんたらめ周辺 植物園、他	ストック スノーシュー	防寒着・防寒靴・手袋・帽子	・コース設定が必要

(2) 仲間と協力し絆を強める

〔防〕防災教育と関連付けられるプログラム

活 動	活動場所	センターで 用意できるもの	持参するもの	備 考
〔防〕 テント泊 (館内テント泊)	テントサイト (研修スペース)	テント・テントマット・ シュラフ・シュラフシー ツ(手引き参照)	懐中電灯	・貸し出し用ランタンを使用する 場合は、1台につき単一電池4 本持参
〔防〕 野外炊飯 (カレー 他)	炊事棟 大屋根広場	炊飯用具 (手引き参照)	ごみ袋・ふきん・カ セットボンベ・炭・は しなど	・用具返却時職員点検 ・食材持参
キャンプファイヤー	大屋根広場	音響機器・ランタン・ 消火用バケツ	薪・トーチ棒・CD・灯 油・軍手・着火用ラ イター・衣装等	・薪1カゴ1,500円、 トーチ用角棒1本190円 トーチ棒完成品1本275円
キャンドルファイヤー	研修スペース	音響機器・燭台(大 小)・ブルーシート	ろうそく1.5号・CD・ 着火用ライター・衣 装等	・館内の水銀灯を消すときは 注意が必要(再点灯まで20分 くらいかかる)
ウォークラリー	リゾート公園	無線機・バインダー	筆記用具・時計・ マップ	・コース設定と問題作成が必要
オリエンテーリング	ピクニックの森・花公 園・植物園など	無線機・ポスト・パン チ・バインダー	筆記用具・時計・ マップ	・コース設定、ポスト設置が必要
樹木 オリエンテーリング	まんたらめ敷地内	マップ・バインダー・植 物図鑑	筆記用具・時計	・番号の付いた樹木を探す
館内ウォークラリー	館内	バインダー・積み木・ 輪投げ・剥製	筆記用具・時計・ マップ	・コース設定が必要
バウムクーヘン作り	大屋根広場 炊事棟	生地づくり用具・竹・ 包丁・ドラム缶コンロ	材料・炭・軍手・ごみ 袋・ふきん・アルミホ イル・紙皿	・用具返却時所員点検 ・食材持参
スノーキャンドル	まんたらめ敷地内	バケツ・移植べら	ティーキャンドル・着 火用ライター	・雪山に穴あけ、ミニかまくら 作り作業有り
雪像作り	まんたらめ敷地内	シャベル他	防寒着・防寒靴・手 袋・帽子	・山の広場
雪上 レクリエーション	まんたらめ敷地内	三角コーン他	防寒着・防寒靴・手 袋・帽子	・山の広場
館内プロジェクト アドベンチャー	研修スペース	竹パイプ・ビー玉・バ ケツ・シート・ロープ・ ぬいぐるみ・熊鈴	ストップウォッチ	・内容は要相談

(3) 自然とのふれあいを深める

活 動	活動場所	センターで 用意できるもの	持参するもの	備 考
自然観察 (講)	植物園・登山道	無線機・虫めがね・双 眼鏡	筆記用具	・講師1人につき10人以内 (冬は7～8人)
ネイチャーゲーム (講)	まんたらめ敷地内・周辺	バインダー・ロープ フラフープ等	内容による(外部講師 を依頼した場合は要 相談)	・材料費(保険料含む)500円
フィールドビンゴ	まんたらめ敷地内	無線機・バインダー	筆記用具 ビンゴカード (タブレット)	・問題作成が必要 ・内容は要相談
星空観察	まんたらめ玄関前	天体望遠鏡・星座早 見板	なし	・要相談
ナイトハイク	まんたらめ敷地内・周辺	無線機・ランタン	懐中電灯等	・コース設定が必要 ・貸出しランタンを使用する場 合は1台につき単一乾電池4本必 要

(4) 自然素材を使った創作を楽しむ

活 動	活動場所	センターで 用意できるもの	持参するもの	備 考
焼き板工作	大屋根広場・炊事棟	バーナーヘッド・のこ ぎり・電動ドリル・焼き 印・グルーガン	ごみ袋・板・軍手・カ セットボンベ・ホットボ ンド・延長コード等	・平板1枚260円で仲介可 (幅10cm×長さ180cm)
丸太・小枝のアート	大屋根広場・炊事棟・ ワークショップ	のこぎり・電動ドリル ・万力・グルーガン・枝	ごみ袋・軍手・彫刻 刀・紙やすり・ホットボ ンド・目玉シール等	・土台について要相談
木の葉・木の実の アート	大屋根広場・炊事棟・ ワークショップ・研修ス ペース	はさみ	ごみ袋・新聞紙・台 紙・のり・ボンド等	・秋は素材が豊富
小枝はんこ作り	大屋根広場・ワーク ショップ	固定台・枝・万力・朱 肉・グルーガン	ごみ袋・ゴム板・彫刻 刀・筆記用具・紙やす り・ホットボンド	・固定台30台
木の葉のしおり作り	ワークショップ・図書ス ペース	ラミネーター・はさみ・ 穴あけパンチ	ごみ袋・ラミネートフィ ルム・和紙・リボン テープ・など	・秋は素材が豊富
草木染め (講)	ワークショップ	カセットコンロ・なべ・ ボウル・バケツ	講師に相談 ごみ袋・雑巾・新聞紙	・材料費600円～ ・20人程度まで
小枝スプーン・ フォーク作り	大屋根広場	電動ドリル・のこぎり ・万力・グルーガン・枝	彫刻刀・紙やすり・ス プレーニス・ホットボン ド・スプーン・フォーク 先	・スプーン・フォーク先を業者に 注文必要(各135円+送料) ・20本以上から受付 ・数量により価格変化(要確認)

(5)その他の活動

活 動	活動場所	センターで 用意できるもの	持参するもの	備 考
トーチ棒づくり	大屋根広場	かなづち・ペンチ	軍手・棒・布(綿)・針 金・釘	・棒1本190円 ・釘は3.2cm針金は太さ0.9ミリ で長さ1m程度が望ましい。
銀粘土細工 (講)	ワークショップ	電気釜	外部講師に相談 ごみ袋	・材料費1,500円～
七宝焼き (講)	ワークショップ	電気釜	外部講師に相談 ごみ袋	・材料費600円～
エコバッグステンシル (講)	ワークショップ 図書スペース	バケツ・はさみ	外部講師に相談 ごみ袋	・材料費500円～
フェルトメイキング (講)	ワークショップ 図書スペース	バケツ	外部講師に相談 ごみ袋	・材料費300円～
エコキャンドル (講)	ワークショップ	カセットコンロ	外部講師に相談 カセットボンベ	・材料費500円～
エコタイルモザイク (講)	ワークショップ	ペンチ	外部講師に相談 ごみ袋	・材料費500円～
グラウンドゴルフ (周)	グラウンドゴルフ場		動きやすい服、靴	・要予約(無料) ・用具はゴルフ場にあり 100人まで
水泳 (周)	クアドーム ザ・ブーン		水着、他	・要予約 (小学生235円、中学生310 円、引率者無料)
テニス (周)	テニスコート	硬式用テニスラケット	運動しやすい服、テニ スシューズ、ボール	・要予約(無料) ・コート7面
タグラグビー (周・講)	ピクニック広場	ボール・タグ・ゼッケン	運動しやすい服、靴	・コート設営補助可 ・レフリー講師派遣要相談
ピザ作り	食堂・炊事棟 ワークショップ	ボウル・ピザ皿・ピザ 返し・包丁・まな板	ごみ袋・ふきん・紙皿・ 炭・着火剤・洗剤	・用具返却時職員点検 ・食材持参 ・50人まで可能
きりたんぽ作り	食堂・炊事棟 ワークショップ 大屋根広場	杉棒・ボウル・バーベ キューコンロ	ごみ袋・ふきん・ビニ ル袋・炭・網・着火剤	・用具返却時職員点検 ・食材持参 ・60人まで可能
うどん打ち (講)	ワークショップ	うどん打ちセット(板、 こね鉢・包丁等)	うどん粉 ごみ袋・ふきん	・用具返却時職員点検 ・食材持参 ・講師については相談ください。
もちつき	ワークショップ 大屋根広場	うす・きね・トレイ・鍋 電動もちつき機	ごみ袋・ふきん・はし・ 紙皿・もち米・きな粉・ あんこ	・用具返却時職員点検
焼きいも作り	炊事棟 営火場	ドラム缶コンロ	サツマイモ・ごみ袋・ 新聞紙・アルミホイル・炭	
そり遊び	オーパス	そり	防寒着・防寒靴・手 袋・帽子	
座禅体験 (講)	研修スペース 館内			・1団体3,000円のお布施 ・法要等で直前キャンセル有り

4 貸し出し用具一覧

(1) 研修全般関係 ※設備・備品は含まれていません

No	用具	数量	備考	No	用具	数量	備考
1	CD・ラジカセ	1	※敷地外 電池持参 単二6個使用	12	ホワイトボード	4	
2	拡声器	2	電池持参 単三6個使用	13	CD・DVDソフト	各種	種類は問い合わせ
3	無線機	11		14	キャンドルファイヤー用 燭台(大)	1	
4	リヤカー	3		15	キャンドルファイヤー用 手持ち燭台	213	ろうそく持参 ろうそく1.5号
5	台車	3		16	パイプいす	27	
6	車いす	3		17	いす	175	折りたたみ不可
7	プロジェクター	2		18	幼児用いす	5	
8	スクリーン	2	固定式移動式各1	19	踏み台	18	
9	OHP	1		20	座卓(台形型)	46	1階25 2階21
10	スライド映写機	1		21	補助テーブル	10	食堂
11	教材提示装置	1		22			

(2) 野外炊飯・テント関係 ※設備・備品は含まれていません

No	設備・用具等	数量	備考	No	設備・用具等	数量	備考
1	包丁	100		18	七輪	17	炭と網を持参
2	まな板	110		19	バーベキューコンロ	10	炭と網を持参 網焼き専用
3	おたま	90		20	かまど用特大鍋	5	30人用 × 2 50人用 × 3
4	ボウル	95		21	つば釜	4	米4升炊き
5	ざる	128		22	鉄板	8	1×1m 2枚 44×60cm 6枚
6	ピーラー	118		23	ドラム缶コンロ	6	炭と網を持参 大2 小4
7	しゃもじ	62		24	フライパン	50	
8	フライ返し	58		25	穴あきお玉	14	
9	菜箸	93	カレー調理要相談	26	やかん	8	
10	トンゴ	65		27	追加テント	10	5人用ドーム
11	ステンレス深鍋大	50	10人程度まで	28	シュラフ(封筒型)	230	シュラフシーツクリー ニング330円
12	ステンレス深鍋中	50	6人程度まで	29	テントマット	50	
13	カセットコンロ	55	ボンベ持参	30	ランタン	28	電池持参 単一4個使用
14	飯ごう(5合炊き)	56	6合まで炊飯可能	31	そば打ちセット	20	麺板・麺棒・包丁
15	飯ごう用ゲージ	6		32	ピザ皿	80	大30 小50
16	特大ボウル	5	45cm(3) 40cm(2)	33	ピザ返し	10	
17	きりたんぽ作り杉棒	370	短尺50本有り	34			

(3)工作用具関係 ※設備・備品は含まれていません

No	用具	数量	備考	No	用具	数量	備考
1	かなづち	55		19	剪定ばさみ	11	
2	ペンチ	57		20	ぶどうばさみ	24	
3	ミニペンチ	46		21	定規	80	長さ15cm
4	両刃のこぎり	49		22	ホチキス	18	針持参
5	丸太用のこぎり	29		23	きり	48	
6	竹引きのこぎり	45		24	ニッパー	52	
7	はさみ	72	紙切り用	25	アイロン	10	
8	グルーガン	70	ホットボンド持参	26	メジャー(2m)	15	
9	バーナーヘッド	14	ガスボンベ持参	27	ピンセット	78	
10	ラミネーター	8	フィルム持参 A4(4) はがき(4)	28	ドライバーセット(5本組)	65	
11	電動ドリル	3		29	かな	5	
12	曲金定規	56		30	万力	8	大屋根広場の 作業台に据付
13	ワイヤブラシ	41	大37 小4	31	鉄工ヤスリ	52	
14	彫刻刀セット(5本組)	56		32	極細丸刃	19	はんこ作り用
15	カッターナイフ	66	大26 小40	33	電動糸のこ盤	4	替え刃持参
16	切り出し小刀	84		34	枝切りばさみ	8	
17	カッターマット	54	大9 小45	35	果物ばさみ	7	
18	ラジオペンチ	53		36			

(4)自然観察・天体関係 ※設備・備品は含まれていません

No	用具	数量	備考	No	用具	数量	備考
1	携帯顕微鏡	20		11	火おこし	8	
2	デジタル顕微鏡	1		12	星座早見板	58	
3	スポッティングスコープ	2	野鳥観察等	13	天体望遠鏡(赤道儀)	4	
4	双眼鏡	31		14	天体望遠鏡(手動式)	4	
5	ルーペ	29		15	虫めがね	96	
6	レンズ付き観察ケース	51		16	懐中電灯	23	
7	飼育ケース	6	中2 小4	17	館内泊用テント	12	
8	虫かご	4		18	移植ベラ	73	
9	虫取り網	8		19	プラスチックバケツ	36	
10	水中生物用網	9		20			

(5)スポーツ・ゲーム(野外活動) ※設備・備品は含まれていません

No	用具	数量	備考	No	用具	数量	備考
1	熊よけ鈴	100	登山用	9	竹馬	12組	
2	オリエンテーリングセット	1	ポスト・パンチ10個	10	電子ホイッスル	10	電池持参 単四2個使用
3	コンパス	19	オリエンテーリング用	11	三角コーン	23	
4	バインダー	52	オリエンテーリング用	12	バスケットボール	4	
5	タグラグビーセット	60	ボール有り	13	長ぐつ	70	サイズ 23cm 37足 24cm 30足 25cm 1足 26cm 1足 28cm 1足
6	硬式テニスラケット	40	ボール持参				
7	フライングディスク	56	ソフト20・ハード36				
8	フライングディスクゴール	3					

(6)スポーツ・ゲーム(屋内活動) ※設備・備品は含まれていません

No	用具	数量	備考	No	用具	数量	備考
1	綱	1	綱引き用	12	旗立てポール	30	
2	長縄とび	3		13	得点板	2	
3	フラフープ	20		14	コーン	53	大13 小40
4	バレーボール用支柱	2組	バドミントン にも使用可	15	けん玉	44	
5	ソフトバレーボール	4		16	ミニボウリングセット	1	
6	ビニルバレーボール	5		17	輪投げセット	1	
7	バドミントンセット	19組	シャトル有り	18	だるま落とし	12	
8	ソフトサッカーボール	5		19	おはじき	多数	
9	卓球台	2		20	ビー玉・めんこ・お手玉	多数	
10	卓球ラケット	19	ボール有り	21	こま	20	
11	キンボール	1		22	将棋・碁	各3	

(7)スポーツ・ゲーム(冬季活動) ※設備・備品は含まれていません

No	用具	数量	備考	No	用具	数量	備考
1	スノーシュー	132	大人用 82 子供用 50	4	そり	51	
2	ストック	60	大人用 33組 子供用 27組	5	そり(ちりとり型)	10	
3	ゼッケン	300	6色×50枚 (黄、橙、青、緑、 白、桃)	6	竹製かんじき	48	
				7	アルミ製かんじき	50	

5 外部講師の依頼について

(1) 依頼にあたって

- ① 依頼する場合は早めに(1か月前程度までに)まんたらめに連絡してください。
- ② 講師の都合により、依頼を受けることができない場合があります。
- ③ グループごとにローテーションで指導を受けるのは、講師の負担が大きくなるためご遠慮ください。
- ④ 天候によって内容が変更になる活動プログラムは、講師と十分な打合せを行ってください。
(自然観察、ネイチャーゲーム、タグラグビーなど)

(2) 依頼できるプログラム

(材料費は一人あたり)

活 動 プ ロ グ ラ ム	材料費等	人 数	備 考
草 木 染 め	600円～	20人程度	・材料費はハンカチ代、染め材料は講師におまかせ ・人数が超えるときは講師数を増やして対応
エコバッグステンシル	500円～	40人程度	・材料費にバッグ代を含む
エ コ キ ャ ン ド ル	500円～	30人程度	・廃ろうそくを利用して作品をつくる ・IH機器を使う場合は講師を増やして対応
エコタイルモザイク	500円～	40人程度	・タイルを割って貼り付けていく
フェルトメイキング	300円～	20人程度	・羊毛を使って作品をつくる
銀 粘 土 細 工	1,500円～	10人程度	・アクセサリ(ネックレスやキーホルダー)ができる
七 宝 焼 き	600円～	20人以内	・キーホルダーやストラップなど
自 然 観 察	謝礼のみ	指導員数による	・指導員一人あたり10人以内(冬季は7～8人) ・実施場所は要相談、冬季も対応可
ネイチャーゲーム	※500円	要 相 談	・人数、内容に合わせて打合せ ※保険料含む
う ど ん 打 ち	粉準備	20人以内	・うどん粉、めんつゆ等食材を各校で準備
タ グ ラ グ ビ ー	なし	指導員数による	・人数、内容に合わせて打合せ
スキー・スノーボード	※謝礼他	指導員数による	・スキー : 半日3,000円 一日 5,000円 ・スノーボード : 半日5,000円 一日10,000円 (※R7. 9. 1改訂)
座 禅 体 験	3,000円 (お布施として)	要相談	・当センター研修スペースにて活動 ・法要等により直前キャンセル有り

(3) 依頼の手順について

- ① 1か月前をめどに、まんたらめに講師依頼をする。(日時、参加人数連絡)
- ② センター職員が講師に都合を打診し、その結果を学校に連絡する。(講師の連絡先含む)
- ③ 詳細について、学校から直接講師に連絡し打合せをする。
[打合せ内容]
・実施日時 ・使用場所 ・参加者の人数 ・講師の人数 ・準備する物 ・材料費 ・雨天時対応

(4) 当日の対応について

- ① 講師への対応は学校で行う。
- ② プログラム実施前に講師と打合せをする。(進め方、場所の確認、用具等の準備)
- ③ 謝礼や材料費を支払う。

(5) 講師謝礼について

- ・ 講師一人あたり 半日3,000円、一日5,000円(交通費込み)
- ① 材料費がかかる場合は別途支払いになります。
 - ② 参加人数が多く講師の数が増える場合、人数分の講師謝礼が必要です。
 - ③ 講師の昼食は含まないこととします。
※ スキー教室を一日実施する場合は、講師の昼食を用意してください。

6 活動施設の概要

施設名	施設の概要	設備・備品
研修スペース	館内でもっとも広いホールです。オリエンテーションを行う場所です。入・退所式をはじめ、キャンドルサービス、ゲーム、レクリエーションに利用できます。	・音響機器（CD・ワイヤレスマイク） ・大型スクリーン ・ホワイトボード ・プロジェクター ・校旗掲揚板 ・グランドピアノ ・横断幕掲示板（95cm×360cm）
図書スペース	図鑑から物語まで、さまざまな本がそろっています。木の葉のしおり作りやエコバッグステンシルなどの作業もできます。	・6人掛けテーブル6台 ・図書各種 ・大型テレビ
ワークショップ（60人収容）	草木染め、小枝はんに作りなどの作業のほか、雨天時の炊飯活動でも利用できます。 作業をする場合は定員50名程度です。	・電気炉3台 ・ホワイトボード ・作業台20台 ・電子レンジ1台 ・流し（蛇口12個） ・丸いす62脚
食堂	174人が一斉に食事できる座席を確保しています。追加テーブル・いすを使うと最大222人まで対応可能です。	・常設6人掛けテーブル29台 ・追加用6人掛けテーブル8台
和室「ふじ」	少人数（20人程度）での作業や学習にも利用できます。	・たたみ部屋（20帖） ・長机（座卓）有り
大屋根広場	雨天でもキャンプファイヤーができる屋外広場です。トーチ棒作りや丸太切り、焼き板工作などでも利用します。また、雨天時には野外炊飯もできます。	・キャンプファイヤー用炉 ・音響機器（CD、ワイヤレスマイク）
炊事棟（A棟・B棟）	A・B2つの炊事棟があり、野外炊飯ができます。ピザ・焼きいも作りでも利用します。	・釜場各6 ・流し（蛇口はA棟12個、B棟8個） ・6人掛けテーブル各21台
野外営火場	追加テントはここに設営します。バーベキューや焼きいも作りなどもできます。	・テント常設時期はキャンプファイヤー不可

7 周辺施設について

施設	手続き	料金	備考
クアッドーム ザ・ブーン 827-2301	◆直接電話予約する （月日、時間、人数等） ◆活動計画書に利用時間を明記 （〇：〇〇～〇：〇〇）	入館料 小学生235円 中学生310円	・利用のマナー指導を徹底すること ・まんたらめ宿泊研修のみ特別料金 ・引率、カメラマンは無料 ※学校活動における持ち込み昼食に限り館内での飲食可能
グラウンドゴルフ場 827-2688	◆直接電話予約する （月日、時間、人数等） ◆活動計画書に利用時間を明記 （〇：〇〇～〇：〇〇）	まんたらめ宿泊の 秋田市市内小中学生は 無料	・利用のマナー指導を徹底すること ・記入用紙あり、用具レンタル可 ・引率は無料 ・利用できる人数は100人以内 ・各種大会があるときは利用不可
テニスコート 827-2270	◆直接電話予約する （月日、時間、人数等） ◆活動計画書に利用時間を明記 （〇：〇〇～〇：〇〇）	まんたらめ宿泊の 秋田市市内小中学生は 無料	・硬式、軟式とも利用可能 ・硬式ラケットは、まんたらめで貸し出し可 ・硬式、軟式ともボールは持参 ・記入用紙あり
オーパスプラザ	◆活動計画書に利用時間を明記する （〇：〇〇～〇：〇〇）	無料	・トイレを使用する場合も借用時間を記入 （〇：〇〇～〇：〇〇オーパスプラザトイレ借用） ・ごみは持ち帰り、使った場所は現状復帰
太平山スキー場 オーパス 827-2221	■令和7年度の利用については、スキー・スノーボード教室を実施する学校に後日連絡します。また、太平山観光開発（株）からも、利用についての連絡があります。		
ピクニックの森 花公園	◆活動計画書に利用時間を明記する （〇：〇〇～〇：〇〇）	無料	・ピクニックの森～花公園間は園路（センターガーデン）でつながっています。 ・ピクニックの森の休憩所・トイレは 使用できません。
植物園	◆活動計画書に利用時間を明記する （〇：〇〇～〇：〇〇）	無料	・「まんたらめ」とつながっています ・散歩や自然観察、オリエンテーリングのコースに使用可
森林博物館 827-2322 ※休館中(R5.8～)	◆東北森林管理局 秋田森林管理署に 電話申し込みをする 882-2311	無料 休館日も学校は対応	※再開館日は未定

8 主な活動プログラムの実際

(1) 野外炊飯

① 炊事棟について

- 炊事棟は2棟あり、それぞれかまど・流しがついています。
- 6人がけのテーブルがそれぞれ21台設置されています。
- 雨天時は「大屋根広場」や「ワークショップ」を使用して炊飯を行うことができます。

② 野外炊飯のメニューについて

- 食材等は各学校で準備していただきますが、ご相談ください。

③ 用具の貸し出し

- 用具は、炊事棟で貸し出します。(用具ごとに分けてあります。)
- 用具を受け取ったら、数の確認をしてください。

④ ごみの処理

- ごみ箱は、炊事棟に準備されたバケツに、ごみ袋(70L以上がよい)をかぶせて使用してください。(燃えるごみは1枚、生ごみは2枚重ねで)
- ごみは分別して、本館北側にあるごみ置き場に置いてください。

クマがエサを求めて来る場合がありますので、ごみを捨てたり、埋めたりしないでください。

⑤ 用具の後片付け・返却

- 飯ごうは、中身をカラにしたら水を張り、コンロにかけて洗いやすくしてください。
- 貸し出した用具は、打合せで指定された場所へ返却してください。
- 返却の際は、センター職員が以下のことを点検します。
 - ・ 汚れをしっかりと落とし、水滴がなくなるまで拭いているか。(カビの発生防止)
 - ・ 流しや地面などにごみや残葉が落ちていないか。(カラス・クマ防止)
 - ・ 使った流しやテーブルは、拭かれているか。

※ 用具返却の際は、必ずセンター職員の点検を受けてください。

⑥ 用意するものについて

学校で用意するもの	センターで貸し出しできるもの
●ふきん(1人2枚) ●カセットボンベ(切れ込み有り) ●ごみ袋多数(70L以上が便利) ●キッチンペーパー ●スポンジ・たわし類 ●食器用洗剤類 ●ハンドソープ ●排水口用ネット(三角コーナー用ネット) 他 【必要に応じて】 ●木炭 ●焼き網(30cm×45cm) ●軍手 ●うちわ ●着火剤 ●食器類 ●アルミシート(160cm×90cm) ●アルミホイル(厚さ30ミクロン以上) 他	●調理器具(貸し出し用具参照) ●三角コーナー ●ごみ用バケツ

(2) キャンプファイヤー

大屋根広場では、雨天時も実施できます。ただし、強風の場合は、中止または活動を制限させていただきます。

① 打合せについて

- 準備の前に大屋根広場で行います。都合のよい時間を事前に連絡してください。
- 会の流れ、準備、片付け、照明の点滅の仕方などについて打ち合せをします。

② 準備について

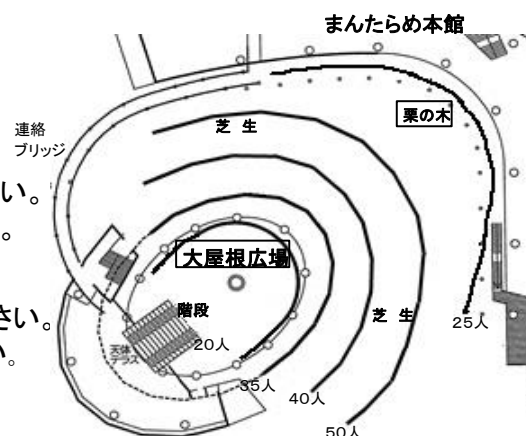
- トーチ棒への灯油つけや場の設定をします。
- 炉の中の薪の設置は職員が行います。

③ 運営、隊形について

- トーチサービスは各校で隊形を工夫してください。
- 右図を限界数と考え、安全を考慮してください。

④ 後片付けについて

- 炉やトーチ棒の後片付けは翌朝に行ってください。
- トーチ棒は翌朝に炊事棟A裏に運んでください。
- 炉の中の燃え残りや灰を取り除いてください。
- 大屋根広場の床を掃いてください。



⑤ 用意するものについて

学校で用意するもの		センターで貸し出しできるもの
● トーチ棒角材(1本) 190円	※仲介可	● 放送機器(マイク、CDデッキ)
● トーチ棒完成品(1本) 275円		● ランタン
● 薪(1カゴ) 1,500円		● 消火用バケツ
● 灯油(トーチ棒10本で1リットル程度)		
● スタッツ、衣装等団体で必要なもの		
● ランタン用電池(1台につき単一を4本)		
● 軍手(綿)		
● CD		
● 着火用ライター		

(3) キャンドルファイヤー

キャンドルファイヤーは研修スペースで実施します。

① 打ち合せについて

- 準備の前に研修スペースで行います。都合のよい時間を事前に連絡してください。
- 会の流れ、準備の仕方、片付けの仕方、照明の点滅の仕方などについて打ち合せをします。

② 準備について

- ブルーシートを敷き、燭台や手持ち用燭台などを準備します。

③ 運営、隊形について

- 全体構成は2部構成をおすすめします。(水銀灯の再点灯に時間がかかるため)
- 研修スペースでは、120人程度で1つの大きな円をつくれます。(二重円可)

④ 後片付けについて

- 使用後のろうそくはバケツに入れてください。
- ブルーシートに付着したろうそくを取り除き、掃き掃除の後に畳んでください。

⑤ 用意するものについて

学校で用意するもの		センターで貸し出しできるもの
● 手持ち用ろうそく(1.5号)	● CD	● 放送機器(マイク、CDデッキ)
● スタッツ、衣装等団体で必要なもの		● ブルーシート
● ランタン用電池(1台につき単一を4本)		● 燭台(大・小)
● 着火用ライター		● 手持ち用燭台
		● ランタン

III その他

1 施設概要

- (1) 敷地面積 40,450m² (2) 建物全体面積 5,337m²
(本館・大屋根研修棟・炊事棟2棟・乾燥室・物置3棟)
- (3) 宿泊定員 (4) その他
- 本館宿泊室(17室) 188人
 - キャンプ場テント(37張) 185人
 - 回遊散策路 1周 400m
 - 駐車場 35台

2 宿泊室について

1F

部屋	11あじさい	12うつぎ	13けやき	14さつき	15しゃくなげ	16つつじ	17つばき	18ななかまど	19ふじ
定員	11名	11名	4名	4名	11名	11名	11名	11名	18名
設備等	ベッド6台(2段ベッド) たたみ8帖		ベッド4台 バス・トイレ付 バリアフリー対応		ベッド6台(2段ベッド) たたみ8帖				たたみ 20帖

2F

部屋	21うめ	22かしわ	23かえで	24くり	25さくら	26すぎ	27なら	28まつ
定員	12名	12名	12名	12名	12名	12名	12名	12名
設備等	ベッド6台(ロフト式3段ベッド) たたみ7.5帖							

3 危険な生き物について

1 クマについて

(1) 特徴

- ① 朝夕に行動することが多い。
- ② 人間との接触はできるだけ避けようとする。
- ③ 不意を突かれたとき(危険を感じたとき)に反撃する。

(2) 対策

- ① 鈴・ホイッスルなどを身につけ、存在を知らせる。(まんたらめで貸し出し可)
- ② クマをよせつけないようにする。(食べ残しやごみを捨てたり、埋めたりしない)

(3) 遭遇したときの対処法

- ① 子グマを発見したときは近くに母グマがいるため、すみやかにその場を立ち去る。
- ② 遠くにいる場合は声をかけるなど、こちらの存在を知らせる。
- ③ 近くで出会った場合は、騒がずに後ずさりし、姿が見えなくなったところで逃げる。
(走るものを追いかける習性があるため、絶対に走らない)

2 ヤマビルについて

(1) 特徴

- ① 枯れ葉の下、草の陰、石の下などに隠れている。
- ② 動物(人間含む)の吐く二酸化炭素や、震動に反応する。
- ③ 気温20℃以上の湿気が多いときや、雨上がりに活動が活発になる。
- ④ 足もとからはい上がり、皮膚の柔らかいところから吸血する。

(2) 対策

- ① 長ズボンと靴下をはき、ズボンの裾に靴下を被せ、すき間をなくす。
- ② 手袋や帽子、タオルを身につけて侵入を防ぐ。
- ③ 長靴に市販の忌避剤「ヒルノック」や「ヤマビルファイター」(皮膚につけてはいけな)をかける。
(忌避剤の代わりに木酢液や竹酢液、飽和食塩水でも効果はあり、自分で作ることが可能)

(3) 発見・付着した場合の対処法

- ① 着火用ライター等で焼却する。
- ② 服や皮膚に付着している場合は、塩や虫除けスプレーをかけて地面に落としてから焼却する。
(無理にとらない)
- ③ 吸血された場合は
 - ・ ヒルを除去し、焼却する。(卵を産まないようにするため)
 - ・ 傷口から血を押し出すようにしておけば治りが早い。
 - ・ 傷口を消毒し、抗ヒスタミン剤を塗布して救急バンソウコウを貼る。

3 毒ヘビについて

(1) 特徴

- ① ヤマカガシ
 - ・ 体色に変化が多い。水田や水辺にすみ、えさは主にカエルや小魚。
 - ・ 1～2本の大きな歯があり、その根元から出る毒液で獲物を弱らせる。
 - ・ 首の根元にも毒液の袋があり、そこから液を出し、敵の口や目に入れて苦しめる。
- ② マムシ
 - ・ 銭形模様が特徴。あぜ道、竹藪、沢などの湿った場所に多く生息し、夜行性。
 - ・ 頭が三角形で瞳が縦に長く、目の後ろに太い筋模様がある。
 - ・ 小型だが、毒性が強く油断できない。かまれた場合は迅速な対応を要する。

(2) 対策

- ① 踏んだり刺激を与えたりすると攻撃してくるので、地面をよく見ながら歩く。
- ② 見つけた場合は手を出さずにやり過ごす。
特に、とぐろを巻いている状態は攻撃態勢なので、速やかにその場から離れる。
- ③ ヘビがいそうな場所に入るときは、長靴を履いた方がよい。

(3) 噛まれたときの対処法

- ① 毒を指で絞り出すと同時に、緊急用車両を要請する。
- ② 要請と同時に病院に連絡し、病院へ直行する。(救急車を待つより早い)

4 スズメバチについて

(1) 特徴

- ① 黒と黄色や赤褐色の斑紋がある。大きさは1cm～6cmと種類による。
- ② 偵察に出ているハチが、えさを見つけたり、敵に攻撃されたりすると仲間を呼ぶ。
- ③ 基本的に肉食だが、肉や食べ残し、飲み残しのジュース等にもよってくる。

(2) 対策

- ① 見つけた場合は手を出さずにやり過ごす。下手に手を出すと攻撃してくる。
- ② 黒いものに反応するので、帽子なども白い方がよい。
- ③ 整髪料や香水はつけないようにする。(揮発性の成分に反応する)

(3) 刺されたときの対処法

- ① 毒をつまむように押し出し、水で洗い流すと同時に、緊急用車両を要請する。
- ② 要請と同時に病院に連絡し、病院へ直行する。(救急車を待つより早い)
(アナフィラキシーショックの反応は、10分後くらいに出る)

資料

提出書類の記入例

- ・ 記入例を参考にして提出書類を作成してください。
- ・ 学校内で引き継ぎされているファイルをそのまま使用せず、必ず太平山自然学習センター「まんたらめ」の HP から最新の提出書類様式をダウンロードしてお使いください。

《記入例》※申請書は2枚複写になっていますのでFAXでの提出はできません。

秋田市太平山自然学習センター使用許可申請書

令和 7 年 5 月 20 日

(宛先) 秋田市教育委員会

※太線枠内をご記入ください。

申請者	住 所	秋田市仁別字マンタラメ〇〇番地	連絡先	勤務Tel	〇〇〇-〇〇〇〇
	団体名	秋田市立マンタラメ小学校		自宅Tel	
	氏 名	校長 仁別 太郎	宿泊者	別紙名簿のとおり	

秋田市太平山自然学習センターを使用したいので下記のとおり申請します。

しおりで代用します。

記

※申請する項目に☑チェックを入れ、必要事項をご記入ください。

使用区分	☒ 宿泊 ☐ 日帰り				
使用目的	☒ センター施設を利用した体験学習 ☐ その他 () ☒ 周辺施設を利用した体験学習				
使用日時	令和 7 年 7 月 1 日 (火) (午前・午後 10 時 00 分から 令和 7 年 7 月 2 日 (水) 午前・(午後) 1 時 30 分まで			宿 泊	1 泊 2 日
使用者数		乳幼児	小中学生	一 般	合 計
	男	名	50 名	4 名	54 名
	女	名	47 名	4 名	51 名
	計	名	97 名	8 名	105 名
使用施設	☒ 宿泊室 (15 室) ☒ 浴室 ☒ 研修スペース ☒ 食堂 ☒ 大屋根広場 ☐ ワークショップ ☐ テントサイト (張) ☒ 炊事棟 (A・B)				

(使用料内訳)

宿泊使用	宿泊室	一般	2,600円 × 人 × 泊 =	円	(その他の料金) ・食事代 ・シーツ クリーニング代 上記については、 直接各業者にお支払いください。	
		小中学生	1,300円 × 人 × 泊 =	円		
		一般	340円 × 人 × 日 =	円		
		小中学生	170円 × 人 × 日 =	円		
	テントサイト	宿泊者	1,800円 × 張 × 泊 =	円		
		日帰り者	一般	110円 × 人 × 日 =		円
		小中学生	50円 × 人 × 日 =	円		
浴 室			150円 × 人 × 回 =	円		
日帰り使用	宿 泊 室 (4・11・12人部屋)		200円 × 室 × 時間 =	円	使用料 (税込)	円
	宿 泊 室 (18人部屋)		300円 × 時間 =	円		
	研修スペース		1,200円 × 時間 =	円	消費税額 (10%対象)	円
	食 堂		900円 × 時間 =	円		
	大屋根広場		1,800円 × 時間 =	円	減免額	円
	ワークショップ		750円 × 時間 =	円		
	炊 事 棟 (A・B)		450円 × 棟 × 時間 =	円	領収金額	円
合 計				円		

所 長	副 所 長	担 当

受付欄	受付担当者	支払方法
		☐ 現金 (月 日受領) ☐ 納付書 ☐ 公金振替

記入例(館内泊) 秋田市太平山自然学習センター 活動計画書

学 校 名 (秋田市立マンタラメ小学校)
記 載 責 任 者 (太 平 峰 子)
電 話 番 号 888 - 1000
F A X 番 号 888 - 2000

申込年月日 令和 7 年 5 月 24 日

	男	女	計	バス乗車数
児童生徒数	50	47	97	97
引率者数	4	4	8	7

1日目	7 月 1 日 (火)			2日目	7 月 2 日 (水)		
時刻	活動内容	活動場所	悪天候時の活動	時刻	活動内容	活動場所	悪天候時の活動
9:10	学校発			6:00	起床		
9:50	花公園着		ザ・ブーン着	6:30	朝の集い	研修スペース	
10:00	入所式	花公園	※登山中止の場合	7:00	朝食(基本食)	食堂	
10:10	登山開始	妙見山	水泳(ザ・ブーン)	8:40	所員と部屋点検		
10:40	登頂・記念撮影		→昼食はザ・ブーン大広間	9:00	自然散策	敷地内	
10:55	下山開始		→入所式はまんたらめ(CD)		焼き板工作の材料集め		
11:20	花公園着			9:30	創作活動	大屋根広場	
			※登山実施		・焼き板工作		
11:30	昼食(弁当持参)	花公園	花公園使用できない場合	12:00	昼食(基本食)	食堂	
12:00	休憩・レクリエーション		→12:15～	13:00	退所式(CD)	研修スペース	
13:00	花公園発		昼食を大屋根広場	:			
13:30	センター着		休憩・レク(敷地内)	13:30	センター発		
13:45	オリエンテーション	研修スペース					
	入室・荷物整理						
14:30	トーチ棒作り	大屋根広場					
15:30	キャンプファイヤー 立ち位置確認	大屋根広場					
16:00	ベッドメイキング	宿泊室					
17:00	夕食(基本食)	食堂					
19:00	夜のつどい (キャンプファイヤー、スタンツ)						
20:00	入浴	浴室					
22:00	消灯	宿泊室					

各学校の担当者	担当者名(ふりがな)
活動全般	太平峰子(たいへいみねこ)
食事・野外炊飯関係	仁別菜々子(にべつななこ)
夜のつどい	松原茂雄(まつばらしげお)
部屋清掃	堂下幸子(どうのしたさちこ)
活動全般打合せ	(9 : 50)
食 事 打 合 せ	(14 : 00)
野 外 炊 飯 打 合 せ	(:)
夜のつどい打合せ	(18 : 30)

部 屋 割 性別と人数を記入してください。(点線から館内左右に分かれています。)

2 階	21 うめ	22 かしわ	23 かえで	24 くり	25 さくら	26 すぎ	27 なら	28 まつ	記入例
定 員	12	12	12	12	12	12	12	12	
人 数		女8人	女8人	女8人	女3人[引率]	女8人	女8人	女7人	女10人
1 階	11 あじさい	12 うつぎ	13 けやき	14 さつき	15 しゃくなげ	16 つつじ	17 つばき	18 ななかまど	19 ふじ
定 員	11	11	4	4	11	11	11	11	18
人 数	男9人	男9人	男4人[引率]	保健室	男8人	男8人	男8人	男8人	

送迎バス

7 月 1 日	[晴れ]学校発(9:10) → 花公園着(9:50)	7 月 2 日	センター 発 → マンタラメ小学校 着
(1日目)	[雨天]学校発(9:10) → ザ・ブーン着(9:50)	(2日目)	13:30 → 14:10

記入例(テント泊) 秋田市太平山自然学習センター 活動計画書

学 校 名 (秋田市立マンタラメ中学校)

記 載 責 任 者 (太 平 一 夫)

電 話 番 号 888 - 0001

F A X 番 号 888 - 0002

申込年月日 令和 7 年 4 月 5 日

	男	女	計	バス乗車数
児童生徒数	35	45	80	80
引率者数	2	3	5	4

1日目	5 月 7 日 (水)			2日目	5 月 8 日 (木)		
時刻	活動内容	活動場所	悪天候時の活動	時刻	活動内容	活動場所	悪天候時の活動
9:20	学校発			6:30	起床 シュラフ・テントマット干し	回廊 大屋根広場	
9:50	センター着			7:10	朝食(基本食)	食堂	
10:00	入所式(CD)	研修スペース		8:40	所員とテント点検	テントサイト	
10:10	オリエンテーション	研修スペース		9:00	ウォークラリー(大屋根広場S・G) S⇒テニスコート⇒ピクニックの森 ⇒花公園⇒総合案内所⇒ グラウンドゴルフ場⇒G 2分おき2グループずつスタート	プロジェクト アドベンチャー (研修スペース) 10:00~11:30 水泳学習 (ザ・ブーン)	
10:50	シュラフ作り			11:45	ウォークラリー終了		
11:20	テントに移動 荷物整理	テントサイト					
11:40	キャンプファイヤー 立ち位置確認	大屋根広場					
12:00	昼食(弁当持参)	大屋根広場		12:00	昼食(基本食)	食堂	
13:00	コース別 創作活動 ・木の葉のしおり作り(15人) ・小枝はんこ作り(30人) ・小枝スプーン作り(35人)	図書スペース ワークショップ 大屋根広場		13:00	シュラフ・テントマット 片付け	研修スペース	
15:00	野外炊飯 ・飯ごう炊飯 ・カレー作り(野菜カット活動有り)	炊事棟A (大屋根広場) (ワークショップ)		13:30	退所式(CD)	研修スペース	
17:00	夕食(野外カレー)	炊事棟A (大屋根広場)		13:50	センター発		
19:00	夜のつどい (キャンプファイヤー、ダンス)						
20:20	補食	大屋根広場					
21:30	就寝	テント					

各学校の担当者	担当者名(ふりがな)
活動全般	太平一夫(たいへいかずお)
食事・野外炊飯関係	仁別花子(にべつはなこ)
夜のつどい	妙見三郎(みょうけんさぶろう)
部屋清掃	奥 岳夫(おくたけお)
活動全般打合せ (9 : 50)	
食 事 打 合 せ (11 : 00)	
野 外 炊 飯 打 合 せ (14 : 30)	
夜のつどい打合せ (18 : 20)	

部 屋 割 性別と人数を記入してください。(点線から館内左右に分かれています。) →テント割 別紙参照

2 階	21 うめ	22 かしわ	23 かえで	24 くり	25 さくら	26 すぎ	27 なら	28 まつ	記入例
定 員	12	12	12	12	12	12	12	12	
人 数									女10人
1 階	11 あじさい	12 うつぎ	13 けやき	14 さつき	15 しゃくなげ	16 つつじ	17 つばき	18 ななかまど	19 ふじ
定 員	11	11	4	4	11	11	11	11	18
人 数									

送迎バス

5 月 7 日	学校	発 →	センター	着	5 月 8 日	センター	発 →	学校	着
(1日目)	9:20	→	9:50		(2日目)	13:50	→	14:20	

記入例(冬季活動) 秋田市太平山自然学習センター 活動計画書

学 校 名 (秋田市立マンタラメ第二中学校)

記 載 責 任 者 (仁 別 太 郎)

電 話 番 号 888 - 0003

F A X 番 号 888 - 0004

申込年月日 令和 7 年 12 月 24 日

	男	女	計	バス乗車数
児童生徒数	54	66	120	120
引率者数	4	4	8	6

1日目	2月5日(木)			2日目	2月6日(金)																				
時刻	活動内容	活動場所	悪天候時の活動	時刻	活動内容	活動場所	悪天候時の活動																		
8:30	学校発			6:30	起床																				
9:00	センター着 荷物搬入→バス乗車	玄関		7:10	朝食(基本食)	食堂																			
9:30	オーパス着		入所式(研修スペース) (CD)	8:40	所員と部屋点検																				
9:50	・レンタル等準備 開講式	プラザ ゲレンデ	オリエンテーション 10:30～ 館内レク (研修スペース 他)	9:00	雪上レク ・スノーハイキング ・そり引き ・雪像作り	山の広場	創作活動(選択) ・小枝はんこ 50人 ・小枝スプーン 40人 ・小枝フォーク 30人 (ワークショップ他)																		
10:00	スキー・スノボ教室開始 ・スキー:1～8班 ・スノボ:9～15班			11:45	雪上レク終了																				
11:45	午前の部終了			12:00	昼食(基本食)	食堂																			
12:00	昼食(弁当持参)	プラザ		13:00	退所式(CD)	研修スペース																			
13:00	午後の部開始		13:00～15:00 水泳(ザ・ブーン)	:																					
14:50	スキー・スノボ教室終了		プロジェクト アドベンチャー (研修スペース)	13:30	センター発																				
15:00	閉講式 ・レンタル等返却	ゲレンデ プラザ		<table><tr><td>各学校の担当者</td><td>担当者名(ふりがな)</td></tr><tr><td>活動全般</td><td>仁別太郎(にべつたろう)</td></tr><tr><td>食事・野外炊飯関係</td><td>妙見花子(みょうけんはなこ)</td></tr><tr><td>夜のつどい</td><td>前 岳雄(まえたけお)</td></tr><tr><td>部屋清掃</td><td>奥田 健(おくだけん)</td></tr><tr><td colspan="2">活動全般打合せ(9 : 00)</td></tr><tr><td colspan="2">食 事 打 合 せ (16 : 00)</td></tr><tr><td colspan="2">野 外 炊 飯 打 合 せ (:)</td></tr><tr><td colspan="2">夜のつどい打合せ(18 : 30)</td></tr></table>				各学校の担当者	担当者名(ふりがな)	活動全般	仁別太郎(にべつたろう)	食事・野外炊飯関係	妙見花子(みょうけんはなこ)	夜のつどい	前 岳雄(まえたけお)	部屋清掃	奥田 健(おくだけん)	活動全般打合せ(9 : 00)		食 事 打 合 せ (16 : 00)		野 外 炊 飯 打 合 せ (:)		夜のつどい打合せ(18 : 30)	
各学校の担当者	担当者名(ふりがな)																								
活動全般	仁別太郎(にべつたろう)																								
食事・野外炊飯関係	妙見花子(みょうけんはなこ)																								
夜のつどい	前 岳雄(まえたけお)																								
部屋清掃	奥田 健(おくだけん)																								
活動全般打合せ(9 : 00)																									
食 事 打 合 せ (16 : 00)																									
野 外 炊 飯 打 合 せ (:)																									
夜のつどい打合せ(18 : 30)																									
15:30	オーパス バス発																								
16:10	入所式(CD)	研修スペース																							
16:20	オリエンテーション	研修スペース																							
17:30	夕食(基本食)	食堂																							
19:00	夜のつどい (キャンドルファイヤー、ダンス)																								
20:00	入浴	浴室																							
22:00	消灯	宿泊室																							

部 屋 割 性別と人数を記入してください。(点線から館内左右に分かれています。)

2 階	21 うめ	22 かしわ	23 かえで	24 くり	25 さくら	26 すぎ	27 なら	28 まつ	記入例
定 員	12	12	12	12	12	12	12	12	
人 数	女9人	女9人	女9人	女9人	女4人[引率]	女10人	女10人	女10人	女10人
1 階	11 あじさい	12 うつぎ	13 けやき	14 さつき	15 しゃくなげ	16 つつじ	17 つばき	18 ななかまど	19 ふじ
定 員	11	11	4	4	11	11	11	11	18
人 数	男9人	男9人	男4人[引率]	保健室	男9人	男9人	男9人	男9人	

送迎バス

2 月 5 日	学校	発 →	センター	着	2 月 6 日	センター	発 →	学校	着
(1日目)	8:30	→	9:00		(2日目)	13:30	→	14:00	

《 記 入 例 》

秋田市太平山自然学習センター木材注文票

令和 7 年 5 月 24 日

担 当 者	太平 一夫
-------	-------

学 校 名	マンタラメ小学校
使 用 予 定 日	令和 7 年 7 月 1 日 (火)

(複数日にわたる場合は、最初の日をご記入ください。)

※ 注文数と金額をご記入ください。

種 類	単 価	注文数	金 額
トーチ用角棒 (3cm×3cm×92cm)	190円	102 本	19,380 円
トーチ棒 (完成品) (3cm×3cm×92cm)	275円	本	円
薪	1,500円	1 籠	1,500 円
平 板 (185cm×10.5cm)	260円	17 枚	4,420 円
合 計			25,300 円

※ 木材注文票は、秋田市太平山自然学習センター宛に提出してください。

(FAX : 018-827-2173 MAIL : ro-edoo@city.akita.lg.jp)

※ 当センターで内容を確認のうえ、木材納入業者に発注をします。

※ リゾート公園内の総合案内所で支払いをお願いします。

※ 支払い予定日と支払い方法を教えてください。

※ 領収証の形式など、要望がある場合は[備考]に書いてください。

[支払い予定日] 7 月 1 日 (火)

[支払い方法] 現金 振込

[備考]

・領収証を、トーチ棒97本分と、トーチ棒5本分+薪1籠分+平板17枚分に分けてください。

《 記 入 例 》

用具貸し出し票

提出日

令和7年 4月 20日

学 校 名	秋田市立マンタラメ中学校		担 当 者 名	太 平 一 夫	
活動	使用日	設備・用具名	貸し出し数	使用場所	備 考
(例)	5月5日	包丁	20	炊事棟	A棟:10 B棟:10
野外炊飯		ステンレス深鍋中	20	炊事棟	A棟:10 B棟:10
テント泊	5月7日	テント	18	里の広場・山の広場	生徒16 引率者2
		テントマット	18	里の広場・山の広場	
		シュラフ	85	里の広場・山の広場	生徒80 引率5
		ランタン	18	里の広場・山の広場	電池持参 単一4個使用
木の葉のしおり作り	5月7日	はさみ	15	ワークショップ	
		ラミネーター	3	ワークショップ	フィルム持参
		まんたらめスタンプ	2	ワークショップ	大1 小1
		スタンプ台	2	ワークショップ	赤1 黒1
		穴あけパンチ	3	ワークショップ	
小枝はんこ作り 小枝スプーン作り	5月7日	両刃のこぎり	8	大屋根広場	
		万力	8	大屋根広場	
		電動ドリル	2	大屋根広場	
		彫刻刀セット	30	大屋根広場	
		グルーガン	8	大屋根広場	グルースティック持参
野外炊飯(カレー)	5月7日	包丁	20	炊事棟A	
		まな板	20	炊事棟A	
		おたま	20	炊事棟A	
		ボウル	20	炊事棟A	
		ざる	20	炊事棟A	
		ピーラー	20	炊事棟A	
		菜箸	20	炊事棟A	
		しゃもじ	20	炊事棟A	
		飯ごう	20	炊事棟A	
		ステンレス深鍋中	20	炊事棟A	
		カセットコンロ	20	炊事棟A	カセットボンベ持参
		ドラム缶コンロ小	2	炊事棟A	木炭・着火剤持参
		バーナーヘッド	2	炊事棟A	カセットボンベ持参
キャンプファイヤー	5月7日	CDラジカセ	1	大屋根広場	
		マイク	2	大屋根広場	
朝の集い	5月8日	CDラジカセ	1	大屋根広場	
ウォークラリー	5月8日	熊よけ鈴	20	花公園 他	
		無線機	5	大屋根広場	
退所式	5月8日	CDラジカセ	1	研修スペース	

◆貸し出し希望用具を貸し出し用紙に記入の上提出してください。

◆用紙が足りない場合は、コピー等をして記入してください。

《 記 入 例 》

秋田市太平山自然学習センター 食事等注文票		提出日	令和7年 4月22日
学校名	秋田市立マンタラメ中学校	担当者	仁別 花子
研修日	令和7年 5月 7日(水)～ 5月 8日(木)	利用人数	86 人

〔基本食〕

	時 間	食事場所	希望メニュー	単価	注文数		合計金額
1 日 目 夕 食	食事時間 17 時 00 分	炊事棟A	☐ 弁当〔基本食〕 ☒ <u>野外炊飯</u> 下段枠※に記入		児童生徒		円
					教職員		円
					カメラマン等		円
2 日 目 朝 食	食事時間 7 時 10 分	食堂	☒ 弁当〔基本食〕	350	児童生徒 80	28,000 円	
					教職員 5	1,750 円	
				700	カメラマン等	円	
2 日 目 昼 食	食事時間 12 時 00 分	食堂	☒ 弁当〔基本食〕	350	児童生徒 80	28,000 円	
					教職員 5	1,750 円	
				700	カメラマン等 1	700 円	
弁 当 小計金額					児童生徒	56,000 円	
					教 職 員	3,500 円	
					カメラマン等	700 円	

〔特別食〕

注文品	受取日時	単価	注文数		合計金額
麦茶 250ml	5 月 7 日 20 時 00 分	110	児童生徒	80	8,800 円
			教職員	5	550 円
			カメラマン等		円
メロンパン	5 月 7 日 20 時 00 分	140	児童生徒	80	11,200 円
			教職員	5	700 円
			カメラマン等		円
爽健美茶 600ml	5 月 8 日 7 時 10 分	160	児童生徒	80	12,800 円
			教職員	5	800 円
			カメラマン等	1	160 円
	月 日 時 分		児童生徒		円
			教職員		円
			カメラマン等		円
特別食 小計金額			児童生徒		32,800 円
			教 職 員		2,050 円
			カメラマン等		160 円

弁当・特別食 合計金額	児童生徒	88,800 円
	教 職 員	5,550 円
	カメラマン等	860 円

※〔野外炊飯〕

	時 間	食事場所	食 材	単価	注文数		小計金額
1 日 目 夕 食	食事時間 17 時 00 分	炊事棟A	☒ センター紹介	400	児童生徒	80	32,000 円
			☐ 学校で持参		教職員	5	2,000 円
					カメラマン等	1	400 円
野外炊飯 合計金額							34,400 円

※ 注文数等に変更がでた場合は、この文書にて訂正版を提出してください。

FAX: 018-827-2173 MAIL: ro-edoo@city.akita.lg.jp

※ 支払い方法について、現金か振込のいずれかに○を付けてください。

〔支払い方法〕 ☒ 現金 ☐ 振込

※ 食物アレルギーをもつ児童生徒の有無
☐ 無し
☒ 有り→連絡票の提出をお願いします

《 記 入 例 》

秋田市太平山自然学習センター 食堂テーブル座席票			提出日	令和7年 4月22日	
学校名	秋田市立マンタラメ中学校		担当者	仁別 花子	
令和 年 月 日 ()	夕食	人利用	追加テーブル	有・無	
令和7年 5月 8日 (木)	朝食	85 人利用	追加テーブル	有・無	
令和7年 5月 8日 (木)	昼食	86 人利用	追加テーブル	有・無	

※各テーブルの利用人数を記入して提出をお願いします。
直接テーブルに人数をお書きください。(6人以内)

表記例 6

バケツコーナー

朝食

ご飯コーナー

みそ汁用 給湯スペース

手洗い

片付けコーナー

研修スペースへ

浴室前廊下

柱

柱

柱

→ 常設テーブル: 29脚×6人=174人分

→ 追加テーブル: 8脚×6人= 48人分追加可能

追加テーブル使用で最大利用可能人数 222人

☆この用紙を食事等注文票と一緒に提出してください。

《記入例》

アレルギー物質に関するアンケートのお願い

この度は、お弁当を御注文頂き、誠にありがとうございます。

当組合では、アレルギー物質を含む食品をご飲食された際に、体調を崩される可能性のあるお客様に、下記アンケートのご協力を頂いております。

1) 下記についてご理解をお願い致します。

※「特定原材料」及び「特定原材料に準ずるもの」以外のアレルギー物質につきましては、原材料規格書からの特定が困難なため、調査を実施しておりません。

※当組合はアレルギーをお持ちの方に対応した工場ではありません。この為、アレルギーの原因となる食品自体が「製品に入っていない食べられる方」以外の方への製品提供は行っておりません。

※製造機械・器具類及び製造ラインを使い分けて製造することが出来ないため

①「成分等が含まれる食品」について食べられないお客様につきましては、加工食品や調味料などに含まれているアレルゲンについて確認を行い、除外して製品を製造することができるか検討し、製品提供できるかどうかを判断させて頂いております。

②「二次的に付着した食品」が食べられないお客様につきましては、二次的な付着を完全に避けることが出来ない為、製品の提供をお断りさせて頂いております。

(但し、当組合製造工場内で取り扱いのない食品に関しましては、製品の提供が出来る場合もございます。)

・成分等が含まれる例：肉焼売に含まれるかにエキスを、さつま揚げに含まれる小麦・大豆、ベーコンに含まれる卵等

・二次的に付着する例：同一調理器具での調理、同じ油で揚げる、同じお湯で茹でる、手指から付着等

2) 高校生以下の年齢の方は保護者様をご記入下さい。

3) 以下の食品自体について、「食べられる」又は「食べられない」どちらかを「○」で囲んでご回答ください。また、「食べられない」に「○」をされた食品につきましては、「成分等が含まれる食品」及び「二次的に付着した食品」につきましても、必ず「食べられる」又は「食べられない」どちらかを「○」で囲んでご回答ください。

宿泊研修実施日：令和7年12月1日(月)・2日(火)

アンケート記入日：令和7年11月3日

学校名：マンダラメ小学校

児童・生徒氏名：仁別 熊美

保護者氏名：仁別 晴男

	食品名	対象食品自体	成分等が含まれる食品	二次的に付着した食品	備考
特定原材料	えび	食べられる・食べられない	食べられる・食べられない	食べられる・食べられない	
	かに	食べられる・食べられない	食べられる・食べられない	食べられる・食べられない	
	小麦	食べられる・食べられない	食べられる・食べられない	食べられる・食べられない	
	そば	食べられる・食べられない	食べられる・食べられない	食べられる・食べられない	
	卵	食べられる・食べられない	食べられる・食べられない	食べられる・食べられない	
	乳	食べられる・食べられない	食べられる・食べられない	食べられる・食べられない	
	落花生	食べられる・食べられない	食べられる・食べられない	食べられる・食べられない	
	くるみ	食べられる・食べられない	食べられる・食べられない	食べられる・食べられない	
特定原材料に準ずるもの	食品名	対象食品自体	成分等が含まれる食品	二次的に付着した食品	備考
	あわび	食べられる・食べられない	食べられる・食べられない	食べられる・食べられない	
	いか	食べられる・食べられない	食べられる・食べられない	食べられる・食べられない	
	いくら	食べられる・食べられない	食べられる・食べられない	食べられる・食べられない	
	オレンジ	食べられる・食べられない	食べられる・食べられない	食べられる・食べられない	
	カシューナッツ	食べられる・食べられない	食べられる・食べられない	食べられる・食べられない	
	キウイフルーツ	食べられる・食べられない	食べられる・食べられない	食べられる・食べられない	
	牛肉	食べられる・食べられない	食べられる・食べられない	食べられる・食べられない	
	ごま	食べられる・食べられない	食べられる・食べられない	食べられる・食べられない	
	さけ	食べられる・食べられない	食べられる・食べられない	食べられる・食べられない	
	さば	食べられる・食べられない	食べられる・食べられない	食べられる・食べられない	
	大豆	食べられる・食べられない	食べられる・食べられない	食べられる・食べられない	
	鶏肉	食べられる・食べられない	食べられる・食べられない	食べられる・食べられない	
	バナナ	食べられる・食べられない	食べられる・食べられない	食べられる・食べられない	
	豚肉	食べられる・食べられない	食べられる・食べられない	食べられる・食べられない	
	マカダミアナッツ	食べられる・食べられない	食べられる・食べられない	食べられる・食べられない	
	もも	食べられる・食べられない	食べられる・食べられない	食べられる・食べられない	
	やまいも	食べられる・食べられない	食べられる・食べられない	食べられる・食べられない	
	りんご	食べられる・食べられない	食べられる・食べられない	食べられる・食べられない	
	ゼラチン	食べられる・食べられない	食べられる・食べられない	食べられる・食べられない	
	アーモンド	食べられる・食べられない	食べられる・食べられない	食べられる・食べられない	

《 記 入 例 》

別記様式（第3条関係）

令和7年 ○月 ×日

（宛先）秋田市長

住 所 秋田市△△7丁目…
申請者 団体名 □□立○○学校
代表者 校長 ○○ △△ 印

秋田市太平山自然学習センター使用料減免について（申請）

秋田市太平山自然学習センター管理運営規則第6条の規定に基づき、使用料の減免を申請します。

記

1 使用日 令和7年 ○月 ×日(△)～令和7年 ○月 ×日(△)

2 減免理由 □□立○○学校☆学部で、教育課程として行われる教育活動で使用するため。

3 減免額

宿 泊 使 用 料	2 6 , 0 0 0 円
日 帰 り 使 用 料	3 4 0 円
減 免 前 合 計	2 6 , 3 4 0 円
減 免 額 (50%)	1 3 , 1 7 0 円

※内訳は別紙「使用許可申請書」のとおり

○ 電話番号一覧

総合病院		
中通総合病院	833-1122	南通みその町3-15
秋田赤十字病院	829-5000	上北手猿田字苗代沢222-1
秋田厚生医療センター	880-3000	飯島西袋1-1-1
市立秋田総合病院	823-4171	川元松丘町4-30
秋田大学医学部附属病院	834-1111	広面字蓮沼44-2

官公庁		
秋田東警察署	825-5110	上北手百崎字内山60-2
旭川駐在所	868-1200	添川字添川168-9
太平駐在所	838-2211	太平目長崎字長橋1-1
秋田消防署	823-4100	山王1-1-1
市保健所衛生検査課	883-1181	八橋南1-8-3
市上下水道局総務課	823-8434	旧藤倉水源池について
市建設部公園課	866-2154	山王1-1-1

周辺施設		
リゾート公園総合案内所	827-2270	テニスコート、オートキャンプ場、木材支払い
森林学習館「木こりの宿」	827-2111	宿泊、温泉
補陀寺	827-2326	見学、座禅体験
旭川ダム管理事務所	827-2040	
聖体奉仕会修道院	868-2139	マリア像見学

交通機関		
秋田中央交通	823-4411	路線バス、貸切バス
工藤興業	839-7575	貸切バス
あさひタクシー	834-5555	注文専用
国際タクシー	835-5931	秋田駅東営業所